

# 上映会 橋のない川

東陽一監督作品



愛を知り、人は光を放ちはじめる—  
日本近代の基底を貫いた魂を描く  
珠玉の「映像叙事詩」完全映画化  
明治・大正の農村を舞台に、真の  
人間の豊かさとは何かを問う。  
人間の尊厳を掲げて敢然と差別に抗して立  
ち上がっていく人々の姿を描いた、住井  
系の大ベストセラー小説「橋のない川」  
映画はこの原作をもとに、真の人間の豊か  
さとは何かを問いつつ、全国水平社結成  
に至るまでの人々の闘いを描く。

1908年(明治41年)、奈良の山村・小森。誠太郎と孝二の幼い兄弟は、父を戦争で失ったが、しっかり者の祖母と心やさしい母に大切に育てられる。だが兄弟は学校や路上で、日ごといじめにあう。小森は被差別部落なのだ。

鋭い感受性に恵まれた幼い兄弟。二人をたくましく育て上げる女たちの優しさと強さ。その家族を中心に、淡くみずみずしい恋、深い友情、そして差別にあらがって敢然と立ち向かう青春群像が、美しい映像で織り上げられていく。毎日映画コンクール日本映画優秀賞、監督賞、撮影賞、美術賞ほか1992年度の映画各賞を多数受賞。日本映画の最高水準を示す名作が誕生した。(「橋のない川」DVDより引用)

**日時：2018年4月13日(金)**

**午後2時から4時30分**

**受付1時30分より**

**会場：金沢別院 真宗会館ホール**

金沢市安江町15-52 金沢東別院内

**料金：鑑賞無料**

※当日は、真宗会館運営費として200円(お一人)をお願いします。受付にていただきます。

**主催：真宗大谷派金沢教区 解放運動推進委員会**